

第1 事業の状況

〔公益目的事業〕

青少年をはじめとする全ての世代の人々の心身の発達や人格の健全な向上を図るとともに、一人の市民として地域社会の発展や世界の平和に寄与できる全人的な成長を促す生涯学習活動。

<基本方針>

熊本YMCAの公益目的事業は、「ウェルネス事業」、「子育て支援事業」、「国際理解・国際教育事業」という3つ事業領域を中心に構成されており、次の5つを学ぶことを目的とする。

- I 自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること
一人ひとり自分がかげがえのない存在であることに気付き、お互いのいのちを大切に、生きる力を身につける。
- II 家族、地域のひとりとして責任があること
人と人とのつながり、地域と人とのつながりを通して、一人ひとりが共に仕え合う責任があることを学ぶ。
- III 世界と地球を見つめ、考え、行動すること
お互いの違いを認め合って、一つの地球に生きるすべての人のいのちと平和、そして私たちが生かされている自然を守るために行動することを学ぶ。
- IV ボランティア精神とリーダーシップを身につけること
お互いに助け合い、支え合う心を育み、人々が生き生きと暮らす地域を守り育てる働きかけが、進んでできる生き方を学ぶ。
- V すこやかな心とからだを育むこと
いろいろな人との交わりと活動を体験することにより、すこやかな心とからだを育み、いつも喜びと希望を持ち、充実した人生を送ることを目指す。

A. ウェルネス事業（野外教育活動及び健康教育活動）

1. 野外教育活動

(1) 自然体験活動

【活動方針】

- ①自然生活を楽しみ、自然に適応する能力を身につける
- ②良い習慣を育て実践する
- ③健康のための知識を得て、自分の身体を守る方法を知る
- ④生活を豊かにする技術を学び、創造力を育む
- ⑤良き友人を作る方法を学び、互いの存在と生命を尊重する心を育む
- ⑥民主的なグループ経験から、社会に関わる責任感を育む
- ⑦神の恵みを知り、感謝の気持ちを養う

【活動内容及び目標人数】

①通年野外クラス

1)インディアンズクラブ（宿泊を伴う野外活動）

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	4名	10名	8名	8名	30名

2)サタデーインディアンズクラブ（日帰り野外活動）

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	4名	30名	15名	5名	54名

②季節野外活動

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
土日キャンプ	—	30名	15名	—	45名

夏期キャンプ	80名	120名	105名	90名	395名
冬期キャンプ	70名	80名	50名	50名	250名
春期キャンプ	30名	—	25名	30名	85名
合 計	180名	230名	195名	170名	775名

③障がい児支援キャンプ

プログラム名	担当部署	実施予定日	目標人数
ポニーキャンプ (熊本盲学校との共催)	ICR	7月24日～26日	生徒：15名 ボランティア等：40名
コスモスキャンプ (日本自閉症協会熊本県支部との共催)	阿蘇	8月3日～5日	児童：25名 ボランティア等：50名

④指導者派遣

キャンプ指導	幼稚園、保育園、子ども会等からの依頼により実施
クラフト指導	幼稚園、保育園、子ども会等からの依頼により実施
ゲーム指導	幼稚園、保育園、子ども会等からの依頼により実施
野外調理指導	幼稚園、保育園、子ども会等からの依頼により実施

(2) リーダーシップ養成活動

【活動方針】

- ①ボランティアとして活動する機会を通して、共に支え合う社会づくりを目指す。
- ②グループワークの手法を活用しながら、各々相互に成長の機会を創造していく。

【活動内容及び目標人数】

プログラム名	担当部署	実施予定日	目標人数
キャンプリーダートレーニング	野外教育	5/20, 21, 27, 28 11/12, 13	5月開催各70名 11月開催各15名
熊本YMCAリーダー研修会	野外教育	11/1	30名

(3) 自然環境の保全活動

【活動方針】

- ①的の石キャンプ場を用い、阿蘇60周年記念事業の自然環境保全活動を年間通して実施する。
- ②未来を担う青少年の森づくりを推進するために、行政、民間団体との協働事業を実施する。
- ③ウエルネス事業部(野外)でのシーズンキャンプで環境教育キャンプを実施する。

【活動内容及び目標人数】

プログラム名	担当部署	実施予定日	目標人数
植林事業(森林探検隊) (会場：YMCA的の石キャンプ場)	野外教育	4月21日	30名
環境教育プログラム (会場：YMCA的の石キャンプ場ほか)	阿蘇	4月21日、5月25日、 7月27日	各回30名 延べ90名
熊本県青年森林協力隊推進事業	野外教育	10月に予定	20名
YMCAエコキャンプ	阿蘇	8月	35名
九州キャンプミーティング	野外教育	2014年2月22日	30名

2. 健康教育活動

(1) スポーツ活動

ア. 子どもスポーツ活動

【活動方針】

- ①フィットネスを向上させます。

- ②新しい技術を習得します。
- ③創意工夫の涵養と気力を充実させます。
- ④安全思想の理解と安全技能を修得します。
- ⑤人と人との交わりを大切にします。
- ⑥「思いやり」、「誠実さ」、「尊敬心」、「責任感」をすべての場面で大切にします。

【活動内容及び目標人数】

①通年クラス

1)体育英語幼稚園

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	24名	—	16名	15名	55名

2)体操

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	191名	284名	182名	226名	883名

3)新体操

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	27名	34名	50名	55名	166名

4)サッカー

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	72名	123名	132名	147名	474名

5)水泳

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	—	1087名	947名	898名	2932名

6)ヒップホップ

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	13名	36名	33名	109名	191名

7)その他のプログラム（親子たいそう等）

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	15名	19名	16名	8名	58名

②講習会

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
春期	100名	105名	322名	320名	847名
夏期	85名	320名	190名	165名	760名
冬期	75名	115名	165名	155名	510名
合計	260名	540名	677名	640名	2117名

イ. 発達障がい支援活動

【活動方針】

- ①ライフステージに応じた、発達障がいのあるメンバーへの支援活動
- ②青年期の発達障がい者支援（A型事業所、若者サポステへの協力）
- ③発達障がいに関する基礎理解を広める研修会の実施
- ④発達障がいに関する支援のネットワークを広げるための教育、医療機関との連携活動

【活動内容及び目標人数】

①通年クラス

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	30名	20名	22名	—	72名

②講習会

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
夏期のみ	13名	3名	—	—	16名

ウ. 成人スポーツ活動

【活動方針】

- ①運動の楽しさ、習慣を身につける。
- ②日常生活に必要な体力・筋力の維持、増進を図る。
- ③生活習慣病を予防する。
- ④医療機関と連携し、メディカルチェックを積極的に展開する。

【活動内容及び目標人数】

①通年クラス

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
アクア	—	○	○	○	
ジム	—	○	—	○	
フィットネス	—	○	○	○	
月平均	—	815名	175名	743名	1733名

②水泳講習会

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	—	25名	15名	10名	50名

エ. 高齢者スポーツ活動

【活動方針】

- ①高齢者の心身機能、および生活機能の低下を予防する。
- ②要介護状態にならない、悪化させない介護予防プログラムを実施する。
- ③下肢筋力を中心に機能維持、改善するプログラムを実施する。
- ④医療機関と連携し、メディカルチェックを積極的に展開する。

【活動内容及び目標人数】

①メディカルチェック費用無料者（60歳以上の参加者：人数はウ①通年クラスに含む。）

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
年間	—	42名	—	50名	92名

(2) 地域支援活動

【活動方針】

- ①熊本市内・熊本市近郊の小学生、保育・幼稚園児、YMCA水泳クラス生への「ウォーターセーフティハンドブック」の無償配布
- ②諸団体への水上安全講習会アピール
- ③大人、保護者対象の水上安全講習&救急法の実施
- ④YMCA水泳教室生への「水上安全講習・着衣泳体験」実施

【活動内容及び目標数】

①水の安全キャンペーン

プログラム名	中央	みなみ	上通	ながみね	むさし	阿蘇	計
水の安全ハンドブック 配布部数	1123部	2500部	30部	2099部	2814部	850部	9416部
配布先：小学校	17校	35校	1校	23校	41校	11校	128校
幼稚園	—	1園	—	—	—	—	1園
保育園	—	1園	—	—	—	4園	5園
着衣水泳指導先	小学校、幼稚園、保育園等からの依頼により実施						

②指導者派遣（熊本市内及び周辺地域）

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	むさし	阿蘇
体操指導	小学校、幼稚園、保育園、行政等からの依頼により実施				
レクリエーション指導	小学校、幼稚園、保育園、行政等からの依頼により実施				
水泳指導	小学校、幼稚園、保育園、行政等からの依頼により実施				
運動指導	近隣医療機関、自治会等からの依頼により実施				

B. 子育て支援事業

1. 幼児保育活動（ぶどうの木幼稚園）

【活動方針】

- ①健康で安全な生活習慣を身につけます。
- ②遊びを通して積極的、自発的行動を促します。
- ③物事への正しい理解と興味関心を促します。
- ④体育、言語、音楽、造形活動を通して創造力を育みます。

【活動内容及び目標人数】

①ぶどうの木乳児園（みなみYMCA）

みなみYMCA	2歳児	3歳児	4歳児	5歳	計
月平均	10名	12名	4名	3名	29名

2. アフタースクール（学童保育）

【活動方針】

- ①学校後の子どもたちの安全で教育的な居場所作りを行う。
- ②地域のもうひとつの学校、もうひとつの家庭として子どもたちの健やかな成長の場を提供する。
- ③学校の学童保育後の預かりも行い、共働き家庭の支援を行う。
- ④「思いやり」、「誠実さ」、「尊敬心」、「責任感」をすべての場面で大切にする。

【活動計画及び目標人数】

①通年クラス

1)アフタースクール

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	—	18名	—	18名	36名

2)児童絵画

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	—	6名	10名	3名	19名

②講習会

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
春期	—	20名	3名	—	23名

夏期	—	80名	9名	—	89名
冬期	—	20名	3名	—	23名
合計	—	120名	15名	—	135名

C. 国際理解・国際教育活動（国際交流活動及び語学教育活動）

1. 国際交流活動

【活動方針】

- ①国際プログラムに参加する機会を幅広い世代に広く提供することで、アジアの課題や多文化共生について考え、学ぶ機会を参加者は得ることができる。
- ②青少年、ユース・リーダー、学生YMCAのメンバーに国際的な活動に参加する機会を多く提供し、体験を広く伝えていただく機会を設け、保護者、YMCA会員が、グローバルな視点を持つようになる。
- ③1YMCA1アジア運動、タイ里親運動、国際協力青少年育成年末募金など熊本YMCA独自で行っている国際協力活動を広く伝えることで、熊本の地で様々な方々がアジアを身近なものとして捉えることができる。

【活動内容及び目標人数】

①海外派遣

プログラム名	担当部署	実施予定日	参加予定数
タイワークキャンプ	ICR	8月20日～27日	10名
タイスタディツアー	ICR	2月20日～25日	5名
ミャンマー・モガウンYMCA訪問	みなみ	5月（計画中）	3名
カンボジア孤児院訪問	上通	8月（計画中）	3名
タイスタディツアー	ながみね	2月（計画中）	3名
カンボジアスタディツアー	むさし	1月（計画中）	3名

②海外受入

<阿蘇YMCA>

- ・ICCPJ（インターナショナル・キャンプカウンセラー・プログラム）の海外キャンプカウンセラー（台湾）受入れ（8月：1ヵ月） 1名

プログラム名	担当部署	実施予定日	受入予定数
ICCPJ 海外キャンプカウンセラー受入 （ICCPJ：インターナショナル・キャンプ カウンセラー・プログラム）	阿蘇/ 上通	7月16日～8月16 日上通：阿蘇研修前後の 約1週間	2名
環境教育ツアー（香港の大学生）	上通	6月（予定）	未定

③国内交流

プログラム名	担当部署	実施予定日	参加予定数
広島ピースセミナー	ICR	8月4日～6日	5名
PHD協会研修生との交流	ICR	1月16日	10名

2. 語学教育活動

(1) 国際理解を深めるための外国語教室

ア. 子ども英語教育活動

【活動方針】

- ①キャラクターディベロップメントを取り入れたレッスンを通しての人格形成
- ②グループワークによる基礎的なコミュニケーション能力の育成
- ③アルファベットと基礎的フォニックスを中心とした英語力の習得
- ④挨拶、クラスルームイングリッシュ、基本単語の習得

【活動内容及び目標人数】

①Zooクラブ

	中央	みなみ	上通	ながみね	むさし	計
月平均	14名	29名	15名	19名	21名	98名

②子ども英語クラス

	中央	みなみ	上通	ながみね	むさし	計
月平均	39名	208名	—	119名	146名	512名

イ. 成人語学教育活動

【活動方針】

- ①ボーダレス社会で役立つ、実用的な語学力を養成します。
- ②多様性と違いを受け入れるところを大切にした教育を行います。
- ③世界の人々との対話を深め、共に生きることを目指します。

【活動内容及び目標人数】

①英会話クラス

	みなみ	上通	ながみね	むさし	計
月平均	44名	158名	12名	34名	248名

②目的別クラス

	上通
月平均	9名

③世界のことば

	上通
月平均	63名

(2) 国際理解を深めるための日本語教室

【活動方針】

- ①外国人のためのクラスルームコミュニティ形成の場と機会の提供
- ②実用的な語学力の養成(生活、日本語検定対策)
- ③ボランティアを通して日本人会員との交流を促進する

【活動内容及び目標人数】

①生活日本語クラス

	上通
月平均	14名

②日本語教師養成クラス

	上通
月平均	8名

③日本語学校 (短期留学コース)

	上通
月平均	7名

[収益事業等]

1. 宿泊及び料飲に関する事業（阿蘇YMCA）

【活動方針】

- ①青少年の全人的成長を願い、教育キャンプ、グループワークを通して参加者の人格形成、向上に寄与する。
- ②研修施設、宿泊施設とし、環境教育、野外活動、スポーツ活動等の生涯学習を通して交流を深め、多くの人々が交わり成長する活動を推進していく。

【活動内容及び目標人数】

	宿泊利用者		飲食提供者		合計	
	単月	累計	単月	累計	単月	累計
目標数	283名	3400名	333名	4000名	616名	7400名

2. 指定管理施設受託及びそれに附帯する事業

（*福岡県大牟田市所有の多目的活動施設「リフレスおおむた」の管理運営）

【活動方針】

- ①市民の文化、スポーツ及び教養の向上並びに青少年の健全育成のための野外活動の充実を図るとともに、広域的な住民の交流の場を確保し、もって生涯学習の振興に資する。
- ②四ヶの自然とテクノパークという産業空間の中で、多くの人が出会い、自然体験等の野外活動、スポーツ活動、文化活動、宿泊生活体験活動等の生涯学習活動を通して交流を深め、ゆとりの中で生きる力を育むことのできる、環境に優しいふれあいのある施設として活動する。

【活動内容及び目標人数】

①主催事業

- ・ ヨガ・健康体操教室 12名（毎週）
- ・ 成人陶芸教室 16名（9月、10月、11月）
- ・ 親子陶芸教室 36名（5月・6月・8月）
- ・ 親子ものづくり教室 40名（11月・12月）
- ・ 親子苔玉教室 20名（12月）
- ・ クライミング指導者講習会 15名（1月から全8回）
- ・ 女性教養講座教室 20名（6月・9月）
- ・ 着物着付教室 10名（6月、7月）
- ・ こつこつゆうゆう体操教室 15名（10月）
- ・ 親子クッキング教室 10名（1月・月）
- ・ バドミントン大会 25組（5月・11月）
- ・ 陶芸サークル発表会 50名（3月）
- ・ がまだす隊（野外活動クラブ） 36名（月例）
- ・ なんでもやる隊（野外活動クラブ） 30名（月例）
- ・ 野草を食べよう 110名（4月）
- ・ 星空観察会 60名（8月・2月）
- ・ ほたる観察会 40名（5月）
- ・ 野外活動指導者講習会 15名（6月）
- ・ アウトドアクッキング教室 10名（2月、3月）

②施設利用（主催事業以外）

1) 宿泊利用

	屋内利用者		キャンプ場利用者		合計	
	単月	累計	単月	累計	単月	累計
目標数	210名	2,520名	55名	655名	265名	3,175名

2) 日帰り利用

	キャンプ場		和室		体育館	
	単月	累計	単月	累計	単月	累計
目標数	396名	4,750名	523名	6,270名	1,342名	16,100名

	クライングウォール		料理室		研修室	
	単月	累計	単月	累計	単月	累計
目標数	165名	1,980名	392名	4,700名	575名	6,900名

	音楽室		創作室		交流室	
	単月	累計	単月	累計	単月	累計
目標数	52名	620名	196名	2,350名	179名	1,950名

3. 不動産の貸付に関する事業

①中央YMC A及び阿蘇YMC Aの土地の一部を学校法人熊本YMC A学園に貸与

1) 中央	熊本市中央区新町1-3-8の土地のうち、461㎡を貸与
2) 阿蘇	阿蘇市車帰の土地のうち、1919.8㎡を貸与

4. 自動販売機手数料事業

①各施設に設置している自動販売機の手数料収益

1) 中央	7台
2) みなみ	5台
3) ながみね	3台
4) むさし	5台